

西中だより

令和5年 7月号 ホームページ <http://www.ube-ygc.ed.jp/nkj/>

発行：宇部市立西岐波中学校
宇部市床波四丁目1-40
TEL (0836)51-9052
Fax (0836)51-6367



東京混声合唱団公演会を実施しました

6月28日(水)に、文化庁学校巡回公演事業として、東京混声合唱団の公演を行いました。30名のプロ歌手による本物の合唱は、一瞬にして生徒を音楽の世界へ引き込みました。オープニング演目の「おお運命の女神よ(カルミナ・ブラーナより、C.オルフ作曲)」では、力強いリズムとダイナミックなメロディーで、体育館が震えるほどでした。また、東日本大震災で被災した南相馬市立小高(おだか)中学校生徒、音楽教員の作品である「群青」では、つらい経験に負けず、仲間とともに未来に向かう曲想に、多くの生徒が共感しました。



また、東京混声合唱団と本校生徒がコラボして、「ふるさと」「西岐波中校歌」を合唱しました。マスク越しとはいえ、500人の気持ちを合わせて歌うことで、表現することのすばらしさを改めて感じたいと思います。

本公演は、「表現活動」「仲間と共に何かを作り上げる経験」のすばらしさを、生徒に体感してほしいという願いがきっかけとなっています。こうした活動は、コロナ禍により制限がかかっていました。そこで、思春期でしか体験できない表現活動や共同活動をしっかりと経験させたいという願いを込めての公演です。生徒には、「自分が好きなことを自分なりに極めて、表現し、そのことで社会に役立ったり自他を幸せにしたりすることができる」ということを学んでほしいと思います。



【生徒の感想から】

- プロの生声を聴いて鳥肌が立ちました。特にすごかったのは、「手紙」という曲です。声が体育館中に響き、男性も女性も声質がよく、ピアノも最高で、指揮者も表現が豊かで、本当にすごかったです。全校生徒で歌ったときは、人数も多く、とても歌いやすい雰囲気でした。全校集会でもできるようになりたいと思いました。（3年 渡邊 陽仁さん）
- それぞれのパートがあんなに入り組んでいるのに、誰もつられていなくて、プロってすごいなと思いました。ソプラノの人たちの声がとても高い音から低い音まで自由自在に出せていて、すごいなと思いました。歌を聴いている途中は、自然と笑顔になったり口が開いたりして、歌にすごく引き込まれました。私も文化祭で歌を歌う時は、恥ずかしがらずに堂々と歌おうと思いました。（2年 青木 友香さん）
- 僕がすごいなと思ったのは「夕焼け小焼け」です。特に最後の方はとても高音だったけど、聴いていてうるさくなく、とても心地よい歌声でした。東京混声合唱団の皆さんと一緒に歌を歌えるなんて、この機会がなかったらできなかったと思います。合唱団の人はみんな楽しそうで、いつも笑顔で、自分の好きなことを仕事にでき、あんな上手になれて、とてもかっこいいなと思いました。（1年 中谷 優さん）

常盤海岸清掃

7/2(日)に行われた常盤海岸清掃に、本校生徒も参加しました。地域の方と一緒に、ふるさとの海をきれいにすることで、地域に貢献することができました。

梅雨の中休みの暑い一日でしたが、目の前のゴミを次から次へと拾って歩き、中学生の元気の良さをアピールすることができました。



生徒総会

7/7(金)に生徒総会を行い、校則の見直しや地域貢献について活発な意見を交換しました。特に、校則については、制服に着目し、自分たちの制服のあり方について考えました。

「思い切って自由がよい」「女子の長袖のシャツがあるとよい」「靴下は黒でもよいのでは」等、それぞれの主張には、発表者の根拠が添えられていました。大勢の前で自分の意見を正しい形で主張し、それを聞きあって考えをさらに深めることで、自分たちの学校やきまり、生活について、改めて自分たちでルールを決めていくこと、自分たちで決めたルールは守ることの大切さについて学ぶことができたと思います。

今後、意見をもとに、生徒、保護者、教員で協議し、今の時代に合った制服のルールを決めていきたいと思っています。

生徒会長 竹下 和仁 さん

どの学年も活発に意見交換が行われ、すばらしい会になったと思います。生徒総会だけに留まらず、意見を活かして今後の生徒会活動に尽力していきたいです。



校長室から

7/1(土)15:40 ごろ、本校校舎に落雷がありました。人的被害は全くありませんでしたが、校舎や設備が大きなダメージを受けました。エアコン、放送機器は未だに修理が間に合いません。

自然災害はいつ起こるかわからないからこそ、避難訓練や防災教育により、命を守ることの大切さを教えてきました。ですが、実際に落雷を受けたことで一瞬にして学校機能がマヒし、教育活動ができない恐れに直面したとき、自然災害の怖さと人間の無力さを改めて感じました。日常生活への困り感がありますが、誰も傷ついていないことに、今は感謝しかありません。

西岐波中は落雷程度では揺らぎません。生徒、教職員が一体となって、この危機を乗り越えつつあります。